

記入例

京都市被災者住宅再建等支援金交付申請書

すべての項目に記載

(宛先) 京都市長		平成31年 3月 27日	
申請者の住所 〒 604 - 8571 京都市 中京区寺町通御池上る 上本能寺前町488番地		(ふりがな) 申請者の氏名 きょうと たろう 京都 太郎 印	
災害の原因 (被災日)		大規模自然災害による (平成30年 9月 4日被災)	
被災の区分		<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input checked="" type="checkbox"/> 一部損壊 (*) <input type="checkbox"/> 床上浸水 <small>*一部損壊については、屋根等の損壊に伴う雨漏り等により、その住宅に一時的に居住することができなくなった程度のものに限る (床上浸水により生じた程度のは対象外)。</small>	
被災住宅の所在地		<input checked="" type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ <input type="checkbox"/> 左記以外 (住所:)	
被災住宅の所有名義人		<input checked="" type="checkbox"/> 申請者名義 <input type="checkbox"/> 申請者以外 (氏名: 申請者との続柄:) <input type="checkbox"/> 賃貸	
被災住宅の再建内容		<input type="checkbox"/> 建替 <input type="checkbox"/> 購入 <input checked="" type="checkbox"/> 補修 <input type="checkbox"/> 賃借	
再建する住宅の所在地		<input checked="" type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ <input type="checkbox"/> 左記以外 (住所:)	
被害箇所及び補修等の内容		<input checked="" type="checkbox"/> 添付書類 (写真及び工事費明細書等) のとおり	

申請内容に応じて記載

基礎	<input checked="" type="checkbox"/> 交付要綱第4条第1項の規定に基づき、基礎支援金 (5万円 (定額)) を申請します。		
加算	<input checked="" type="checkbox"/> 交付要綱第5条の規定に基づき、加算支援金 (下記により算出した額) を申請します。		
	<small>(A)から(C)を控除した額に3分の1を乗じて得た額から(B)を控除した額。(ただし、当該額が上限額を超える場合は当該上限額。また、当該額が45万円未満の場合、(A)から(B)と(C)を控除した額と45万円*とを比較し少ない方の額) (千円未満切り捨て) *賃借による再建の場合は20万円</small>		
	工事着手年月日	平成31年 2月 10日	工事完了年月日 平成31年 2月 22日
	被災住宅の再建に要する経費の額	885,600円 (A)	
支援法支援金等の対象の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (支援法支援金: 円(B) まちの匠事業: 円(C)) <small>*被災者生活再建支援法に基づく支援金又はまちの匠事業の補助金の交付を受けることができる場合は、「有」にチェックを入れ、交付金額を記入してください。</small>		
同一災害で既に基礎支援金又は加算支援金を申請している場合、チェックしてください。 <input type="checkbox"/>			

すべての項目に記載

振込先口座	金融機関	〇〇〇〇〇 銀行 〇〇〇 本店 支店 出張所 <small>※ゆうちょ銀行の場合、振込用の店名を記入</small>
	預金種目	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 貯蓄
	口座番号	1 2 3 4 5 6 7 キョウト タロウ 口座名義人 京都 太郎
<small>口座名義人が申請者と異なる場合にのみ記入してください。</small>		
委任状	私は、私が申請した京都市被災者住宅再建等支援金に係る請求及び受領について、下記の者を代理人と定め、一切の権限を委任します。	
	代理人の住所	委任状は口座名義人が申請者と異なる場合のみ記入
	代理人の氏名	申請者との続柄
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> り災証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 被災・補修箇所のカラー写真 <input checked="" type="checkbox"/> 工事費明細書 (見積明細・請求明細等) (※) <input checked="" type="checkbox"/> 領収書 (※) <input checked="" type="checkbox"/> 工事状況チェックシート (※) <input checked="" type="checkbox"/> 振込先の預貯金通帳のコピー <input type="checkbox"/> まちの匠事業の交付決定通知書 (該当する場合のみ) (※) <small>※基礎支援金のみ申請する場合は、「工事費明細書」「領収書」「工事状況チェックシート」「まちの匠事業の交付決定通知書」の提出は不要です。</small>	

【注意事項】 ○ 交付申請書の記入の前に、下記の記載要領を御確認ください。
 ○ ボールペンで記入してください。(消せるボールペンの使用不可)
 ○ 押印は印鑑で鮮明に行ってください。(ゴム印等不可)
 ○ 訂正した場合は、訂正印 (申請者印と同一の印) を押してください。
 ○ 審査において、記載内容等について、電話で確認させていただく場合があります。

○ 申請日 (郵送日) を記入してください。

○ 申請者は、被災住宅に居住している世帯の世帯主としてください。事情により世帯主による申請ができない場合は、世帯員が申請してください。
 ○ 電話番号は日中連絡が取れる電話番号を記入してください。また、携帯電話への連絡も可能である場合は、携帯電話番号も記入してください。

○ り災証明書の内容と一致しているか確認してください。
 ○ 「災害の原因 (被災日)」は、り災証明書の「災害の原因」の日付を記入してください。
 ○ 「被災の区分」は、り災証明書で証明されている「り災区分」をチェックしてください。ただし、一部損壊については、屋根等の損壊に伴う雨漏り等により、その住宅に一時的に居住することができなくなった程度のものに限り、支援対象です。
 ○ 「被災住宅の所有名義人」について、申請者本人の名義でない場合は「申請者以外」にチェックし、氏名及び続柄を記入してください。なお、加算支援金の支援対象は、申請者本人名義又はその一親等内の親族名義による所有で、かつ、申請者本人が費用を負担した場合に限ります。(加算支援金は借家の方は原則として対象外です。)

○ 「被災住宅の再建内容」は、該当する再建内容をチェックしてください。なお、「賃借」による再建は基礎支援金の支援対象ですが、加算支援金は「全壊」又は「大規模半壊」に限り支援対象となります。

○ 「工事着手年月日」「工事完了年月日」は、工事状況チェックシートを参考に記入してください。
 ○ 「被災住宅の再建に要する経費の額」には、以下の経費の合計額を記入してください。
 (分からない場合は領収書の合計額を記載してください。支援対象の経費か京都市で審査します。)

経費の種類	内容
建替又は購入費	被災住宅に代わる住宅の建替工事費又は購入費 (購入後直ちに行う補修工事費を含み、土地の取得費を除く。)
補修費	被災住宅又は被災住宅に代わる住宅の補修工事費
賃借費	被災住宅に代わる住宅の賃借に係る経費
解体費等	被災住宅の解体若しくは除却又はその敷地内の土地の整地に係る経費

○ 被災者生活再建支援法 (国制度) に基づく、被災者生活再建支援法人からの支援金の支給を受けることができる場合や、京都市が実施している「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援補助金」 (まちの匠事業) の交付を受ける場合は、「対象の有無」を「有」とし、交付を受けるものに「〇」を付け、金額を記入してください。また、まちの匠事業の交付を受ける場合は工事着手前に補助金申請のうえ、交付決定通知書を添付してください。

○ 振込先口座は申請者御自身の個人名義の口座を指定してください。 (法人名義の口座は不可)
 ○ ゆうちょ銀行の場合、振込用の店名 (四四八など) 口座番号 (7桁) を通帳で確認してください。
 ○ 申請者以外の口座への振込を希望する場合は、委任状の欄に記載してください。

○ 代理人は、同一世帯又は同一生計の方としてください。

○ 提出する添付書類にチェックしてください。
 ○ 添付書類はコピーの提出で可。
 ○ 提出書類は返還しませんので、御留意ください。

注 必要事項及び該当する口にレ印を記入してください。